

保健センターだより 2018年春・夏号

麻疹（はしか）について

2018年度に入り麻疹（はしか）の流行が話題となりました。麻疹は感染力が非常に強く、重症化すると肺炎や脳炎などの重篤な合併症を引き起こします。この機会に予防法などを確認しましょう。

感染経路

人から人へ感染します。
 接触感染、飛沫感染、空気感染



「飛沫」とはくしゃみなどで放出されるウイルスや水分を含んだ粒子です。この飛沫が乾燥したもの（飛沫核）は軽いので長時間浮遊しどこまでも飛んで行きます。これを吸い込み感染する事を「空気感染」といいます。

感染力は非常に強く、免疫がないと同じ部屋にいても感染する事があります。

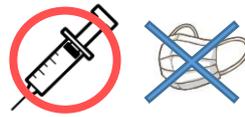


予防

ワクチン接種が唯一の予防方法です。空气中に浮遊している極小のウイルスのため、通常のマスクでの予防は困難です。

【ワクチン接種について】

- ・2回接種が必要です。
- ・年代によって接種状況が異なります。
 2006年生まれ以降：定期接種2回世代
 1978～2005年生まれ：定期接種1回世代（1回不足）
 ※追加接種により2回接種済みの人もいます
 1977年以前生まれ：定期接種がない世代（ただし自然に感染し、免疫がついている場合が多い）



- 以下のいずれかにあてはまる方は免疫があるとされています。
 - ・過去に罹患した（検査で確認が望ましい）
 - ・ワクチンを2回接種した（記録が必要）



【免疫があるか調べたいとき】
 免疫がある（＝抗体を持っている）かは、血液検査で調べられます。

- 保健センター内科でも実施可能です。診療時間内にお越しください。
 ※費用がかかります。検査代（650円）＋診察料（職員100円、学生無料）
 ※学生証か職員証等をお持ちください。

※定期接種でも必ず受けているとは限らないため、母子健康手帳で接種状況を確認したり、抗体検査をして免疫があるか調べておく事が重要です。

臨床経過



「修飾麻疹」に注意！



- 上記のような典型的な症状が出ない事があります。（高熱が出ない、発熱期間が短いなど）
- ・過去のワクチンの効果が薄れているなど、麻疹に対する免疫が弱い人が感染した場合に起こります。
 - ・感染力は弱いものの、感染源になるため要注意。

発疹について

- 【形態】鮮紅色の斑点
- 【出現順】耳後部・顔→体幹→上肢→下肢（全身）



肺炎と脳炎は麻疹による2大死因です。



合併症

発症から約1ヶ月間は免疫機能が低下した状態のため、合併症が起こりやすくなります。
 【例】肺炎・中耳炎（5～15%）・脳炎（1000例に1例）等

参考：国立感染症研究所HP
 厚生労働省HP、総務省HP